

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月20日		記入者		連絡先	2632
平成18年度部名	保健福祉部		課名	介護予防推進室		課長名 佐藤浩三
平成19年度部名	保険高齢部		課名	介護予防推進課		課長名 佐藤浩三
事務事業名	運動機能向上事業					
予算上の事務事業名	運動機能向上事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	第3期高齢者保健福祉計画			要支援・要介護状態になるおそれのある特定高齢者等を対象とした筋力向上トレーニング、転倒骨折予防教室、個別訓練、自主訓練の実施		
計画年次	平成18	年度～	平成20	年度		
4 事業形態の区分	サービス提供			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
運動機能の向上を目的とした各事業を通じて、特定高齢者等が要支援・要介護状態になることを予防する。					特定高齢者等	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
高齢者筋力向上トレーニング事業 筋力・体力が低下した者を対象に、マシンを使ったトレーニングを行った。(年間3コース開催) 転倒骨折予防教室 理学療法士や保健師等による転倒予防に関する体操や講義を実施した。(年間5コース開催) 個別訓練・自主訓練 理学療法士、作業療法士がプログラムを作成し、週1回、6か月間の訓練を実施した。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	3,875	0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	3,875	0	0	
人件費の合計	0	0	7,245	0	0	
事業コスト合計	0	0	11,120	0	0	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	高齢者筋力向上トレーニング事業			対象名称 と単位	延実施回数(回)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)			4,753			
対象数			72			
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	66,014	#DIV/0!	#DIV/0!	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	高齢者筋力向上トレーニング事業参加者修了率（％）	指標式と指標の説明	修了者人数 / 実参加人員 × 100 定員に対する実参加人数の割合		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			92.9		
目標			100.0		
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	92.9		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	要支援・要介護認定者数の推計値に対する要支援・要介護認定者数の実績値	指標式と指標の説明	要支援・要介護認定者数の推計値 ÷ 実績値 × 100 推計認定者数に対する実績値の達成状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			104.7		
目標			100.0		
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	104.7		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		本事業については、運動器の機能向上を図る面での有益性が高いことから、対象者の範囲を拡大する。また、民間のトレーニングジム等において実施することも可能であることから、事業の委託化を図る。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
本事業は、参加者の運動器の機能向上を図る面での有益性が高いことから、費用対効果の向上のため、対象者を特定高齢者に限定せず、運動機能の低下が見られる一般高齢者にまで拡大する。これにより、併せて予算を含めた事業体系の見直しを行う。			民間事業者への委託にあたっての委託範囲の設定、事業者の選定など。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、より効果的な事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			